令和６年度 **中部ブロック防犯ボランティアフォーラム**で大学生防犯ボランティア「**APP（あいちパトロールピーポー）**」が活動発表を行いました。

令和６年７月20日(土)、岐阜市の岐阜商工会議所において、中部管区警察局主催**「中部ブロック防犯ボランティアフォーラム」**が開催されました。
本フォーラムでは、中部６県から選ばれた４団体の防犯ボランティア団体による活動の発表が行われました。
愛知県からは、大学生防犯ボランティア**「APP（あいちパトロールピーポー）」**が発表団体に選ばれ、日頃の防犯活動について発表を行いました。

<APP（あいちパトロールピーポー）による発表>

テーマ： 地元企業と連携した青パト活動等

発表者： APP 隊長 近藤 大希 君･隊員 眞島 大嘉 君

〔発表概要〕

■地元企業と「防犯パトロールにおける車両等貸出に関する取決め書」を締結し、地元企業の社用車を用いて、**青色防犯パトロール活動を実施**している。地元企業と学生ボランティア団体が連携し、社用車を用いて青色防犯パトロールを運用することは**全国初の取り組み**である。

■警察本部や県との連携は、主に**四季の安全なまちづくり県民運動における啓発活動**に参加。啓発チラシ等を配布して、県民に犯罪の未然防止を呼び掛けている。

■昭和警察署や昭和区役所とは、**徒歩での合同パトロール**や**防犯教室**等のイベントに参加している。

■課題として、**団体人数の縮小**や**活動参加者の固定化**があり、解決に向けて、新規メンバーの獲得に向けた**勧誘チラシの配布**や構成員へ**積極的参加のアプローチ**を行っている。

< APP（あいちパトロールピーポー）の概要>

平成22年当時、防犯ボランティアの高齢化、固定化が危惧されていたことから、愛知県警察が取組意欲のある大学生に対して、防犯ボランティアへの参加を呼びかけ、若者世代の防犯意識醸成を図り、**活動の活性化と定着化を促進するモデルケース**として発足した。

在籍するメンバーは、主に中京大学に在籍する学生32名で、青色防犯パトロール活動に加え、警察や自治体と連携した各種防犯啓発活動を実施している。

（愛知県警察本部　生活安全総務課作成）